

Ⅲ 基準ごとの自己評価

基準 1 大学の目的

(1) 観点ごとの分析

観点 1-1-1: 目的として、教育研究活動を行うに当たっての基本的な方針や、養成しようとする人材像を含めた、達成しようとする基本的な成果等が、明確に定められているか。

【観点到係る状況】

大学の目的は、「東北大学の基本的理念及び基本的目標」として定められ、養成しようとする人材像、使命、基本方針は、「東北大学の中期目標」に明示されている。

各学部・研究科等においては、基本的理念と基本的目標を踏まえた方針及び養成しようとする人材像を策定している。(表 1-1-1-1)

表 1-1-1-1 大学の目的

(1) 東北大学の基本的理念、基本的目標及び東北大学の中期目標 (抜粋)

(東北大学の基本的理念と基本的目標)

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、「実学尊重」の精神の基に、世界最高水準の研究・教育を創造し、その研究成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献することを基本的目標とする。

(中期目標)

1. 教育目標・教育理念—「指導的人材の養成」:

- ・学部教育では、豊かな教養と人間性を持ち、人間・社会や自然の事象に対して「科学する心」を持って知的探求を行うような行動力のある人材、国際的視野に立ち多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材を養成する。
- ・大学院教育では、世界水準の研究を理解し、これに創造的知見を加えて新たな展開を遂行できる創造力豊かな研究者並びに高度な専門的知識を持つ高度専門職業人を養成する。

2. 使命—「研究中心大学」:

- ・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探求等を目指す基礎科学の推進とともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。同時に、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。
- ・知の創造・継承と普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。

3. 基本方針—「世界と地域に開かれた大学」:

- ・世界と地域に開かれた大学として、自由と人権を尊重し、社会と文化の繁栄に貢献するため、「門戸開放」の理念に基づいて、国内外から、国籍、人種、性別、宗教等を問わず、豊かな資質を持つ学生と教育研究上の優れた能力や実績を持つ教員を迎え入れる。それとともに、産業界はもとより、広く社会や地域との連携研究、研究成果の社会への還元や有益な提言等の社会貢献を積極的に行う。
- ・市民への開放講座、インターネットによる教育を積極的に推進するとともに、市民が学術文化に触れつつ憩える環境に配慮したキャンパス創りを行う。

出典 東北大学中期目標 (東北大学ホームページ)

(2) 各学部の目的

文学部	現代世界が直面する複雑で困難な諸課題は、科学技術のみで解決を図ることは難しく、何よりも人間性への深い洞察に根ざした人文社会科学的知見を必要としている。そうした社会的要請に応え、人間性に対する鋭敏な感受性と現実社会に対する透徹した認識とを基盤に、国際社会の発展に積極的に貢献しうる、知性と行動力をもった人材の養成を目指す。
教育学部	理論的基礎に支えられた専門的知識と分析力を備え、現在社会が抱える教育の諸問題を総合的かつ系統的に把握し、その解決を具体的に推進しうる人材を養成する。 学校教育にとどまらず、家庭教育・社会教育など教育に関する幅広い見識と深い洞察力を有し、さらには課題解決に向けての企画・実践能力を備えた人材の養成を目的とする。
法学部	法学・政治学に関する正確な基礎知識を身に付け、鋭い正義感覚と幅広い視野から社会に伏在する諸問題を発見・分析し、その解決に努めることをもって、良き社会の実現に貢献する人材、すなわち「法政ジェネラリスト」の人材の養成を目指す。
経済学部	総合大学としての特性を活用した教養教育の基礎の上に、経済学・経営学の融合教育を行う。少人数の演習を重視した教育を実施し、広い基本的知識と深い専門的・応用的知識及び課題探求力を身に付けた国際的視野を持つ指導的人材を育成する。また大学院との連携教育を実施することにより教育の高度化をはかる。
理学部	理学の基礎知識を修得し、大学院で高度の教育を受ける能力を持つ人材、及び理学の基礎知識を活用し社会の広い分野において主導的役割を果たす人材を育成することを目的とする。
医学部	(医学科) 教員と学生相互の協調による強固な教育基盤の構築と、医学・生命科学の根元を解明する研究及び教育の実践により、豊かな人間性と旺盛な探求心を育み、人類の健康と福祉に貢献する指導的・高度専門職業人を育成することを目的とする。 (保健学科) 人命を尊重し、豊かな人間性を持ち実践力を備え、人間としての生活の質 (Quality of Life) の向上を大切にする医療人を育成することを目的とする。
歯学部	「臨学一体」の基本理念のもと、全ての事象に対し恒に発展的に「考究」することを教育理念とし、医療人、研究者、教育者としての豊かな教養と人間性、高い倫理観を備え、「科学する心」を持って知的探求を行う「考える歯科医師」を養成することを目的とする。
薬学部	種々の病気に対する有効かつ安全な新規医薬品の創製とその薬物治療への応用に関する基礎教育を推進することにより、創薬科学の発展に寄与し得る人材と、薬の専門家として医療の一翼を担い得る人材を養成する。 特に、4年制の創薬科学科では、大学院でさらに学んで創薬科学の研究者・技術者になるための基礎を築くことを目指す。また、6年制の薬学科では、研究心あふれる高度薬剤師としての基盤形成を行う。
工学部	人間と自然に対する広い視野と深い知識を基本としつつ、自ら考えて行動し、21世紀の科学技術の発展と革新を担うことができる、創造性豊かな人材を育成する。 そして、工学の本来の目的である「人類福祉への貢献」、すなわち、基礎科学を基に、競争的協調を通じて人間の生活を豊かにするための応用科学・技術の探求を行いうる人材を養成する。
農学部	食料、健康、環境に関する広範な知識と技術を理解・習得し、豊かな農学的思考を基礎にして、資源生物の生産と活用、食料の生産と健康増進、生物遺伝資源の保護、環境の保全修復に貢献できる指導的・中核的人材を養成する。

出典 東北大学各学部のホームページ

(3) 各研究科等の目的

文学研究科	<p>人文社会科学を構成する各専門分野の研究を通じて、人類文化の知的遺産を確実に継承するとともに、その創造的発展に積極的に寄与しうる研究者及び高度な専門的職業人を育成することである。</p> <p>そのような人材は、各専門分野における先端的な研究能力を修得するのみならず、幅広い学際的視野と卓越した国際的発信能力を備えていなければならない。</p> <p>人間の精神活動や社会活動への深い洞察力に基づいて異質の文化を理解し、高度の専門的知識を生かすことによって国際貢献をなしうる人材の養成を目指す。</p>
教育学研究科	<p>教育に関する理論的基礎に支えられた高度な専門的知識と技能を備え、社会的要請を敏感に察知するとともに、自ら問題を発見し、教育に関する諸問題の解決を具体的に推進しうる人材を養成する。</p> <p>前期2年の課程では、教育に関する専門的知識と技能を有する高度専門職業人、及び後期課程に進学し研究者を志す人材の養成を目標とする。</p> <p>後期3年の課程では、教育に関する専門的領域の研究者を目指し、教育学の新たな発展に貢献できる、博士の学位を持つ人材の養成を目標とする。</p>
法学研究科	<p>法政理論研究専攻（研究大学院）では、社会をリードする卓越した知的人材の育成を図る。すなわち、不断に高度化し複雑化する現代社会、さらに近年グローバル化の進展の著しい国際社会の中で、日々新たに生起するさまざまな法的・政治的問題に対し、基礎的・学問的な視点と先端的・学際的な視点の両者から鋭く分析のメスを加え、その成果をもとに、法科大学院や公共政策大学院に新たな独創的知見を提供する人材を育成する。</p>
経済学研究科	<p>経済学・経営学の高度な総合的教育を行う。21世紀の社会的・経済的諸課題の解決のために知的貢献を行う研究者と、高度な職業能力及び公認会計士等の専門的職業能力をもって社会の指導者となりうる人材を育成する。また社会人教育に積極的に取り組むことによって現代の社会的要請に応える。</p>
理学研究科	<p>自然の真理を解き明かす自然科学の創造と発展を推進し、人類の自然についての知識を豊かにするとともに、社会の進歩への貢献及び国際的研究環境下で先端理学研究を先導できる質の高い人材を育成することを目的とする。</p>
医学系研究科	<p>以下の人材を育成することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学問に対する強い探究心を持ち、常に目的意識を持って医学領域の諸問題の解決に挑戦して問題解決を成し遂げることができるのみならず、問題を発見することができる人材 ・最先端の専門的知識を備え、世界水準の研究を理解するとともに、新たな発想に基づき、未知・未踏の研究課題に取り組む創造力と行動力のある人材 ・外国人や社会人に対する門戸を開放し、国内外で幅広く活躍できる人材 ・国際的視野と幅広い教養と豊かな感性に支えられた倫理性を持ち、かつ、高度な専門的知識の実践により、健全なる地域社会と国際社会の形成に貢献する人材
歯学研究科	<p>「臨学一体」の理念に基づき、全ての事象に対し恒に発展的に「考究」する科学心を養うことを教育理念とし、「考究心」や「科学心」を具備した、次代を担いうる、優れた研究者、教育者、高度専門職業人を育成することを目的とする。</p>
薬学研究科	<p>広範囲な薬学分野の知識と技術を修得し、独創的な発想力と国際的な競争力を備えた薬学研究者・技術者を養成する。</p> <p>特に、博士前期（修士）課程では、学部教育で獲得した基礎的知識・技術に立脚して、薬の創製から適正使用までの高度な知識と応用力を修得した人材を養成する。博士後期（博士）課程では、最先端の創薬科学研究、臨床薬学研究を自らの力で推進できる能力をもった優れた研究者を養成する。</p>

工学研究科	<p>博士前期課程では、研究を遂行する上で必要な幅広い基礎学力を習得し、研究課題を独自の発想により展開させ、論文としてまとめて学会にて発表する能力を備えるとともに、広い視野に立って、専門分野における研究能力、或いは研究・技術指導のための基本的能力と高度技術を備えた人材を育てる。</p> <p>後期課程では、社会的ニーズを視野に入れて研究課題を開拓し、独自の発想からその課題を展開させ、国際水準の論文をまとめて国際会議にて発表する能力を有するとともに、研究経験をもとに関連の専門分野においても主体的に研究が遂行できるだけでなく、将来とも自己啓発をしながらリーダーとして広い視野に立って研究を指導できる人材を育てる。</p>
農学研究科	<p>食料、健康、環境に関する高度な専門的知識と学識を備え、バイオサイエンス、バイオテクノロジーなどの先端技術を活用し、農学研究を自立的・論理的に行い、新しい生物産業の創成を国際的視野から先導的に推進できる人材を養成する。</p>
国際文化研究科	<p>国際的な地域文化、文化交流及び言語文化に関する学際的かつ総合的な教育・研究を推進し、国際化の進展に対応して国内外で活躍し、国際貢献を担い得る高度な研究能力と専門的知識を有する人材を養成することを目的とする。</p>
情報科学研究科	<p>情報の伝達や処理に関する科学と共に、人間や社会に関わる情報の意味や価値に関する科学を「情報科学」として体系化して教授する。</p> <p>「情報科学」の習得によって、新しい知識を生み出す方法論を身に付け、社会の変化に柔軟に対応し、情報社会で主体的に活動し得る人材を育成する。</p>
生命科学研究科	<p>生命科学の先端的知識・技術を開拓し、国際的なレベルで広く情報を発信できる人材を育成する。また、専攻横断的な教育によって分子から個体群までの広い生命科学の基礎を修得し、それを応用することで従来の知識・技術では対応しきれない新たな課題にも対処できる人材を養成し、生命科学を人間の生活の維持と向上のための科学と位置づけ、生命や環境の倫理に裏打ちされた生命科学を推進できる人材の育成を目指す。</p>
環境科学研究科	<p>持続可能な発展をささえる文化と循環社会の基盤となる社会構造を確立するため、文系・理系という伝統的区分を越える総合科学として新たな枠組みの環境科学を構築し、多様な領域の効果的接近と新たな学問領域を創出することにより、環境問題の解明と解決に関わる幅広い知識と理解力を有しつつ深い専門性を持ち、国際社会においても活躍できる人材を養成する。</p>
教育情報学教育部	<p>情報化時代における新しい教育形態を研究・開拓するとともに、IT技術を利用した教育にたずさわる高度専門職業人及び研究者を育成する。</p> <p>さらに、著しい進歩をとげている情報技術を教育の現場で駆使し、効果的な教育を行おうとする教育者、企業・団体等で人材育成に携わる実務家、さらに、新しい形の教育の研究に従事する専門家を育成する。</p>

出典 各研究科等ホームページ

【分析結果とその根拠理由】

東北大学の基本的理念、基本的目標は定められており、養成しようとする人材像は、東北大学の中期目標に明示されている。また、各学部・各研究科等においても、その基本的理念や基本的目標との整合性を持たせて、それぞれの教育研究の方針や人材像を明確にしている。

以上のことから、教育研究活動を行うにあたっての基本的な方針や、養成しようとする人材像を含めた達成しようとする基本的な成果等が、大学として明確に定められていると判断する。

観点 1-1-2： 目的が、学校教育法第 52 条に規定された、大学一般に求められる目的から外れるものでないか。

【観点に係る状況】

東北大学の目的は、表 1-1-2-1 のとおり定められており、これは、学校教育法第 52 条に規定された、大学一般に求められる目的に沿った内容となっている。

表 1-1-2-1 東北大学の中期目標の前文、基本的な目標及び教育に関する目標（学部）

- ・学部教育では、豊かな教養と人間性を持ち、人間・社会や自然の事象に対して「科学する心」を持って知的探求を行えるような行動力のある人材、国際的視野に立ち多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材を養成する。
- ・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探求等を目指す基礎科学の推進とともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。同時に、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。
- ・知の創造・継承と普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。

出典 東北大学中期目標

【分析結果とその根拠理由】

東北大学の定めた目的は、学校教育法第 52 条に規定された大学一般に求められる目的を踏まえており、東北大学の中期目標に掲げた事項は、さらに本学独自の理念を加味したものである。

したがって、東北大学の目的は、学校教育法第 52 条に規定された大学一般に求められる目的から外れるものではないと判断する。

観点 1-1-3： 大学院を有する大学においては、大学院の目的が、学校教育法第 65 条に規定された、大学院一般に求められる目的から外れるものでないか。

【観点に係る状況】

東北大学大学院の目的は、表 1-1-3-1 のとおり定められており、これは、学校教育法第 65 条に規定された、大学院一般に求められる目的に沿った内容となっていると判断する。

表 1-1-3-1 東北大学の中期目標の前文、基本的な目標及び教育に関する目標（大学院）

- ・大学院教育では、世界水準の研究を理解し、これに創造的知見を加えて新たな展開を遂行できる創造力豊かな研究者並びに高度な専門的知識を持つ高度専門職業人を養成する。
- ・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探求等を目指す基礎科学の推進とともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。同時に、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。
- ・知の創造・継承と普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。

出典 東北大学中期目標

【分析結果とその根拠理由】

東北大学大学院の定めた目標は、学校教育法第 65 条に規定された大学院一般に求められる目的を踏まえており、東北大学の中期目標に掲げた事項は、さらに本学大学院独自の理念を加味したものである。

したがって、東北大学の目的は、学校教育法第 65 条に規定された大学院一般に求められる目的から外れるものではないと判断する。

観点 1-2-1： 目的が、大学の構成員（教職員及び学生）に周知されているか。

【観点に係る状況】

東北大学の目的は、表 1-2-1-1 の各種出版物等として作成されており、大学構成員に配付されている。また、大学として実施している新任教員研修や高等教育開発推進センターが実施している職員研修においても、この資料等が活用されている。

東北大学が実施している部局評価項目には、各学部・研究科等の教育理念・教育目標の策定と公表の義務付けが含まれており、中期目標については、毎年度、部局単位にその達成度調査を実施しているので、教授会等の議論を通じ、そのつど教職員に周知されている。

各学部・各研究科等の目標及び理念は、学生便覧、シラバス、学部・研究科等のホームページ等への掲載をもって学生に周知されており、新入生オリエンテーションの場でも紹介されている。

資料 1-2-1-1 東北大学 Annual Review 2006 (和文) Tohoku University Annual Review 2006 (英文) http://www.bureau.tohoku.ac.jp/koho/pub/annual_review/
資料 1-2-1-2 東北大学概要 2006 (和文) Tohoku University Fact Book 2006 (英文) http://www.bureau.tohoku.ac.jp/koho/pub/gaiyou/

表 1-2-1-1 目的等を掲載している各種出版物等 (○は掲載有)

名称	大学の目的	学部・研究科等の目的	対象	発行部数
東北大学概要	○		教職員, 学外の教育関係機関	和文 5,500 部 英文 3,000 部
入学者選抜要項	○		高校生等	30,000 部
Annual Review	○		教職員, 国内の教育関係機関, 学生の保護者(英文は国外の教育関係機関)	和文 15,500 部 英文 5,000 部
学生便覧		○	教職員, 全学生	学部等ごとに作成 合計約 8,000 部
ホームページ	○	○	社会一般	—

備考 東北大学の基本的理念及び基本的目標は、東北大学概要及び Annual Review では「東北大学の使命」(Mission Statement)として掲載されている。

評価分析室調べ

【分析結果とその根拠理由】

東北大学の目的は、開学以来の伝統を踏まえて策定されたもので、学内の構成員には「広報 205 号」(平成 13 年 12 月 20 日)等の学内向けの各種広報冊子やホームページにより周知されている。

また、各学部・研究科等の目的は、学生便覧、シラバス等により学生にも周知されており、新任教員研修、職員研修及び新入生オリエンテーションにおいて具体的な説明が行われている。

観点 1-2-2 : 目的が、社会に広く公表されているか。

【観点に係る状況】

本学の目的は広く社会一般に公表されている。例えば、東北大学の使命及び目指す大学像が掲載されている Annual Review 2006 は、国内の大学・学術関係機関及び1・2年次学生の保護者に配付されている。さらに、国際的な周知を図るため、その英語版を作成し、94の学術協定校(24カ国)及び241の部局間交流協定機関(42カ国)に配付している。

また、東北大学の使命及び目指す大学像が掲載されている東北大学概要は、和文・英文2種類を作成し、国内外の大学及び学術関係機関に配付し、ホームページでも公開している。また、英語圏以外の地域にも周知できるよう、中国語版・フランス語版のホームページも作成している。

なお、世界の大学のグローバル化と国際競争に対処するため、東北大学の国際交流戦略の基本指針を定め、ホームページで公開している。

各学部・研究科等の目的は、ホームページにより、学外からの閲覧も可能である。なお、工学研究科及び経済学研究科は目的を英語で作成して公表している。

【分析結果とその根拠理由】

東北大学の目的は、多様な媒体、手段によって広く社会に公表されている。英語版の Annual Review 及び東北大学概要は、国際的な認知度を高めるため、国際交流協定校、海外の研究教育機関等へ配付するとともに、中国語及びフランス語によるホームページでの公表も行っており、国の内外を含めて社会に広く公表されていると判断する。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

東北大学の目的は、創立以来の伝統と学風を踏まえて検討されたものであり、その目的に即して立てられた中期目標を含め、多様な媒体で大学構成員に周知されている。

とりわけ、新任教員研修、職員研修、オリエンテーション等においては、東北大学の目的を学内構成員に周知し、理解を得るための機会としている点が優れている。

また、大学の目的は各種広報冊子、ホームページで公開されており、更に、教育研究の国際化に対応できるよう、英語版での各種広報冊子、英語・中国語及びフランス語によるホームページでの公表も行っている点が優れている。

【改善を要する点】

なし

(3) 基準1の自己評価の概要

東北大学の創立以来の伝統である「研究第一主義」「門戸開放」「実学主義」を基本にした「東北大学の理念」は、東北大学の歴史と現状を踏まえて進むべき明確な指針となっている。

中期目標では、大学の目標として、

1. 教育目標・教育理念 - 「指導的人材の養成」
2. 使命 - 「研究中心大学」
3. 基本方針 - 「世界と地域に開かれた大学」

を掲げ、本学の研究教育の基本方針を明らかにするとともに、学部卒業者及び大学院修了者が身に付ける素養の目標も明確にしている。

東北大学の目的は、東北大学が発行する各種広報冊子、ホームページ等を通じて学生を含めた学内構成員とともに、社会に広く公表されている。

学内構成員への周知では、① 新規採用教員を対象とした新任教員研修では、総長等から大学の目標達成のために果たすべき教員の役割を中心に、② 教育・学生支援担当職員を対象とした職員研修では、理事・副学長から中期目標等の遂行に必要な知識を中心に、③ 新入生オリエンテーションでは、学部長等から大学・学部の目的や養成しようとする人材像を中心に、それぞれ具体的な説明がなされており、東北大学の目的の理解を深める場として機能している。

また、教育研究の国際化に対応できるよう、英語版の広報冊子を作成し、国際交流協定校、海外の研究教育機関等へ配付するとともに、ホームページには英語に加えて中国語及びフランス語による掲載も行っている。